

別紙 1

令和 4 年度北山村観光振興事業業務委託仕様書

I. 業務委託名

令和 4 年観光振興事業業務委託

II. 目的

和歌山県北山村は、これまで地域振興策として、観光いかだ下りや特産品であるじゃばらの生産、加工、販売を中心に、温泉施設や宿泊施設等を含むおくところ公園の運営やキャンプ場の運営を進めてきた。近年の和歌山県全体のインバウンドの増加、アウトドアブームの隆盛を背景に、北山村における観光客の増加が期待されていた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による村内観光事業への影響は大きく、関連事業者を含め観光客の減少が村内に与える影響は多大である。

そこで、本年はアフターコロナに備え、観光事業の振興を図るとともに反転攻勢にできるための準備期間として捉え、奥瀬道路Ⅲ期区間の開通、じゃばら新加工場の完成に向け、村内での新規観光事業の検討や道の駅のリニューアルに向けた基本計画の策定、村内の機運醸成を行う。また、観光協会事務局における企画提案や接遇といった具体的な能力の向上を図り、事務局機能の体制強化を図る必要がある。

本業務においては、上記の事業について観光協会に提案を行うとともに、実際に企画運営を行うことを目的とする。

III. 業務内容

本業務において委託する業務は下記のとおりとする

①観光振興地域連携アドバイザー事業

北山村観光協会が行う各種観光施策の実施や計画の策定にあたり、基礎調査や関連法令の整理、事業提案を行うアドバイザーを委嘱する。

②バンジージャンプ誘致に向けた検証事業

現在村では、建設中である国道 169 号奥瀬道路Ⅲ期区間において 3 号橋を利用しバンジージャンプの誘致を検討している。そこで、バンジージャンプ事業の実現可能性、収益を検証するとともに、誘致候補者の選定を行い、事業の実施に向けた計画を作成する。また、誘致に向け村内の機運醸成を図るため、関連事業を企画実施する。

③交通利便性向上のための検証事業

現在、観光客が利用できる公共交通機関は三重県熊野市とつながる 1 日 2 便の村営バス

のみである。

奈良県下北山村・上北山村方面、和歌山県新宮方面、本宮本面の観光客の取り込みのため、周辺の観光客の移動傾向の把握および関連法令の整理、特区での規制緩和事業の状況などをとりまとめ、周辺市町村や交通事業者とともに現実的な交通体系の構築を検討する。

④道の駅利用計画の作成

国道 169 号奥瀬道路Ⅲ期区間工事の完了後、現在の建設会社事務所跡地（旧テニスコート）が更地になること、またじゃばら新加工場の完成に併せ、株式会社じゃばらいずが使用している事務所エリア・発送エリアなどが空室となることから、その後の道の駅施設全体の活用方法について検討する必要がある。そこで、道の駅施設のリニューアル案をまとめ提案する。

⑤体制強化のための人材育成

現在、観光協会事務局は筏の予約受付、観光客に対する窓口案内業務を中心に行っている。国際化する観光客に対応するためのスタッフ個人の言語力の向上、窓口での案内内容の向上、また協会員に対する指導や協会としての事業提案を含め、事務局職員の技能向上を図るため、研修等を行うほか、現地において協同して実務を行うことで資質向上を図る。

IV. 実施体制

委託業務の実施に当たっては、本業務を主として担当する者を選定し、可能な限り北山村で業務にあたる体制を検討すること。

（なお、観光協会事務所内に受託事業者が利用できる座席を確保する予定である。）